

情報活用能力育成のための指導事例【小学校 第6学年 総合的な学習の時間】

単元・題材名	とべ、未来へ！ー将来の夢・進路についてー	指導時間（本時）	12/15
本時の目標	教科・科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の将来や進路について希望をもち、インターネットやさまざまな情報の中からなりたい職業や進路先について自分なりに調べ、まとめることができる。</li> <li>自分の小学校生活を写真やデータから振り返り、まとめることができる。</li> </ul>	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータなどを使って、プレゼンテーションの資料を作る。（モA42-3-010）</li> <li>情報機器（プロジェクタ・電子黒板等）を活用して、情報を提示する。（モA42-3-020）</li> </ul> <p>■必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな機器を利用して、情報を集める。（モA21-3-010）</li> <li>目的や視点を明確にして、情報を集めることができる。（モA21-3-040）</li> <li>プレゼンテーションソフト等で文章や写真をレイアウトし、数枚のスライドを作成する。（モA22-3-080）</li> </ul>	
活用する主なICT機器等	<p>■コンピュータ    ■実物投影機（教材提示装置、書画カメラ）    ■プロジェクタ</p> <p>■デジタルカメラ    ■インターネット    ■ソフトウェア（プレゼンテーション）</p>		
本時の概要	インターネットや様々な情報の中から希望する職業や進路先を調べ、プレゼンテーションソフトを活用して、自分の成長をアルバム形式（幼い頃の写真はスキャナで取り込む）でまとめさせる。		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <p>2 プレゼンテーションソフトの使い方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業の手順を確認する。</li> </ul>	○ プレゼンテーションソフトでA4縦書きに設定し、簡単なアルバムを作成することを理解させる。
	展開	<p>3 それぞれの内容で作業する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集</li> <li>アルバム作成</li> </ul>	<p>◎ インターネットを活用した情報収集をさせる。（進学先の学校等の情報、将来なりたい職業の情報等）</p> <p>※ 引用先や出典先が分かるように、ホームページのアドレス等を確認させる。</p> <p>◎ プレゼンテーションソフトを活用させ、アルバムを作成させる。</p> <p>※ 著作権にも配慮させる。</p> <p>※ 幼い頃の写真は保護者に依頼し、スキャナで電子データとして取り込んでもらう。</p>
	終末	4 作品を確認する。	◎ プロジェクタで投影し確認させる。
使用した教材・資料（コンテンツ）	○名称・出典・内容など		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な方法で収集した情報を、プレゼンテーションソフトにまとめさせることで、適切なレイアウトや見やすい工夫など、表現方法について学習させる。</li> </ul>		
備考	<p>○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>著作権には特に配慮している。インターネットからの引用等、そのまま使わないように留意している。</li> </ul>		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の[実践]力」→ [実践]，「情報の科学的な[理解]」→ [理解]，「情報社会に参画する[態度]」→ [態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号